

平成 23 年 度

三重大学大学院 人文社会科学研究科

(修 士 課 程)

学 生 募 集 要 項

三 重 大 学

人文社会科学研究科アドミッションポリシー

本研究科は、人文社会科学の諸分野の高度な専門知識にもとづき、広く学際的・総合的な教育研究を行うことにより、複雑化・多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者および専門的職業人の養成をめざしています。

地域文化論専攻アドミッションポリシー

—このような人を育てます—

地域文化論専攻は、世界の各地域に固有の文化を、高度な専門性にもとづき、人文諸科学のさまざまな研究視点から探求することを教育研究の目的とし、地域文化の理解と発展に寄与しうる人材を育成します。

—このような人を求めます—

- ①地域固有の問題とその背景に強い興味・関心のある人
- ②専門分野の研究を通じて、さらに高度な地域理解をめざしている人
- ③自ら情報を発信し、社会への貢献をめざして行こうとする意欲をもつ人

社会科学専攻アドミッションポリシー

—このような人を育てます—

社会科学専攻は、社会の諸問題を社会科学の視点から高度な専門性と幅広い視野をもって考究することにより、地域社会に貢献することを教育研究の目的とし、地域において指導的役割を発揮しうる人材を育成します。

—このような人を求めます—

- ①法律、政治、経済、経営に対する強い知的好奇心をもつ人
- ②専門分野の研究を通じて、地域の課題を解決しようとする意欲のある人
- ③理論だけではなく、実践力も身につけたいと考えている人

目 次

1. 目 的	1 頁
2. 構 成	1 頁
3. 有職者のための昼夜間開講の実施等	1 頁
4. 社会人特別入試	2 頁
5. 長期履修学生制度	2 頁
6. 募 集 人 員	3 頁
7. 出願期間, 試験日及び合格発表	3 頁
8. 募 集 要 領	4 頁
(1) 一般入試	4～8 頁
(2) 社会人特別入試	9～12 頁
(3) 外国人留学生特別入試	13～17 頁
9. 各入試に共通する注意事項	18～19 頁
10. 障害のある入学志願者との事前相談	20 頁
11. 授業科目開講予定一覧表	22～25 頁
12. 地域文化論専攻における指導内容	25 頁
13. 修了の要件及び学位	26～28 頁
14. 個人情報の利用について	28 頁

1. 目的

社会・生活環境の急激な変化が進みつつある中で、人文・社会科学のさまざまな分野において専門的知識を有し、広い視野に立って適切な判断・企画・実行の能力を有する専門的職業人が求められています。

本研究科では、一般学生及び外国人留学生の教育を行うとともに、平成13年度から昼夜間開講制等教育体制を改革し、専門的職業人の育成、地域社会に貢献できる人材の育成、国際的文化人の育成などの社会人の再教育を積極的に行っています。

2. 構成

本研究科には、次の2専攻がおかれています。

(1) 地域文化論専攻

本専攻には、2つの専修があり、その特色は次のとおりです。2専修は緊密な連携のもとに、まとまりのある教育システムとして機能しており、入学者は、その関心に応じて専修を超えた科目履修が可能です。

① 地域社会文化論専修

日本、アジア、ヨーロッパ、アメリカ等の諸地域における社会文化を考究します。歴史学、思想、社会学、地理学、情報学、文化人類学、社会心理学、環境研究等の専門分野から地域社会の各側面を考究分析し、未来の礎を築こうとするものです。

② 地域言語文化論専修

世界各地における言語文化を考究します。日本言語文化圏、中国とその周辺言語文化圏、ヨーロッパの言語文化圏、アメリカの言語文化圏というそれぞれの専門分野から、地域社会の言語文化を考究分析し、地域理解の礎とするものです。

(2) 社会科学専攻

本専攻には、2つの専修があり、その特色は次のとおりです。2専修は緊密な連携のもとに、まとまりのある教育システムとして機能しており、入学者は、その関心に応じて専修を超えた科目履修が可能です。

① 地域行政政策専修

政治学、公法学、経済学(経済理論・経済政策)の専門分野から、地域の公共的な政策課題を考究分析します。

② 地域経営法務専修

経営学、民事法学、経済学(経済史・経済学各論)の専門分野から、地域で活動する企業、NPO、市民の経済的・法的課題を考究分析します。

3. 有職者のための昼夜間開講の実施等

本研究科は、有職者が履修しやすいように大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用し、昼夜間開講を実施しています。有職者と認められた者は、この特例によって勤務時間外の夜間等に開講される授業を履修することで、修士課程修了に必要な単位を修得できます。なお、研究科が認めた有職者は特定課題研究をもって、修士論文に代えることができます。

4. 社会人特別入試

(1) 標準在学コース及び短期在学コース

本研究科は、社会人の再教育と生涯学習のため社会人特別入試を行います。本入試は標準在学コース（標準修業年限2年間）及び短期在学コース（標準修業年限1年間）の2つのコースに分けて行います。

① 標準在学コース(標準修業年限2年間)

標準修業年限2年間のコースですが、長期履修学生制度も利用できます。

これについては、下記5. を参照してください。

② 短期在学コース(標準修業年限1年間)

短期在学コースは有職者のために設置されるものです。本コースは専門的能力の向上、職務上の課題解決等、職務と関連した研究を行うため、企業・自治体等から派遣（教員の休業制度を含む）される者で、明確な研究目的と研究計画を準備している者を対象とします。本コース合格者は、昼間と夜間に開講される講義・演習を履修することで、1年間で修士課程修了に必要な単位を修得できます。さらに入学時から指導教員による修士論文（又は特定課題研究）作成指導を受け、審査に合格すれば、1年間で修士課程を修了することができます。

(2) 在学コースの変更

社会人特別入試における入学後のコース変更は一切認められません。

(3) 在学期間

最長在学期間は、それぞれのコースの標準修業年限の2倍です。

5. 長期履修学生制度

長期履修学生制度は、職業等に従事しながら、個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し学位等を取得できるようにする制度です。

長期履修学生として認められた場合は、修業年限は最大4年で、授業料は2年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うこととなります。（下記の【授業料の納入例】参照）

長期履修を希望する者は、あらかじめ出願書類と共に「長期履修申請書」等必要書類を提出しなければなりません。

本制度が適用される対象は、「一般入試」及び「社会人特別入試（標準在学コース（2年）に限る）」合格者で、長期履修申請が認められた者です。長期履修申請の審査結果は、合格発表時に本人に通知します。

【授業料の納入例】

標準修業年限（2年）

1年目 (535,800円)	2年目 (535,800円)	1,071,600円
-------------------	-------------------	------------

- (1) 出願時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 3年 = 357,200円 (1年間の授業料)

- (2) 出願時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 4年 = 267,900円 (1年間の授業料)

6. 募集人員

地域文化論専攻

地域社会文化論専修

地域言語文化論専修

} 計 5名 [一般入試, 社会人特別入試(若干名),
外国人留学生特別入試(1名)の合計]

社会科学専攻

地域行政政策専修

地域経営法務専修

} 計 5名 [一般入試, 社会人特別入試(若干名),
外国人留学生特別入試(1名)の合計]

7. 出願期間, 試験日及び合格発表

- (1) 出願期間

平成23年1月6日(木)～平成23年1月13日(木)

郵送の場合は「書留速達」とし、出願期間内必着とします。

なお、持参する場合は9時から17時とし、土曜日・日曜日及び祝日は受け付けません。

提出先：〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学人文学部チーム 学務担当

- (2) 試験日

平成23年2月5日(土)～平成23年2月6日(日)

- (3) 合格発表

平成23年2月14日(月) 午前10時頃

8. 募集要領

本研究科では、「一般入試」、「社会人特別入試」、「外国人留学生特別入試」の3種類の選抜が実施されています。試験科目等は入試種別ごとにそれぞれ異なるので十分注意してください。なお、「社会人特別入試」は2つのコースで出願資格及び出願書類が若干異なりますので注意してください。

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験のほか、提出書類（「志願理由書・研究計画書」等）を総合して行います。

(1) 一般入試

① 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの

(注1) 上記出願資格9号の対象者は、高等専門学校・短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校、外国人学校の卒業者等で大学卒業資格を有していない人です。

(注2) 上記出願資格7号、8号又は9号の資格で出願を希望する場合は、土曜日・日曜日・祝日を除く平成22年12月10日（金）までに、下記まで必ず問い合わせてください。

問い合わせ先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学人文学部チーム 学務担当 TEL 059-231-9197

E-mail hum-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

② 出願書類等（一般入試）

書類等の名称	提出該当者	摘要
入学志願票	全員	(所定用紙)
受験票・写真票	全員	(所定用紙) 必ず自筆してください。
成績証明書	全員	出身大学長等が作成し厳封したものを提出してください。
卒業証明書 (卒業見込証明書)	全員	出身大学長等が作成したものを提出してください。
志願理由書・研究計画書	全員	(所定用紙) <ul style="list-style-type: none"> ・ ワープロによる作成可。 その場合は、指定用紙枠内に直接印字あるいは印字した別紙の貼付のいずれも可。 ・ 専攻により用紙が異なるので注意してください。 ○ 地域文化論専攻志願者で、卒業論文がある者は、卒業論文（コピー可）を別途提出してください。卒業論文には要旨をつけてください。（ただし、英米文学・英語学、ドイツ文学・ドイツ語学を志願する者は卒業論文及び要旨を提出する必要はありません。）
入学検定料	全員	30,000 円 (振込手数料が別途必要となります。) 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関(銀行・信用金庫・農協など)の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。 (ATMは使用しないでください。)
入学検定料納付票		振込の後に、「振込証明書」(入学検定料納付票貼付用)を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 (ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。)
返信用封筒	全員	受験票の送付用封筒(本学交付のもの)に住所・氏名等を明記し、350 円分の切手を貼り付けてください。
宛名シール	全員	(所定用紙)

(長期履修を希望する者)

書類等の名称	提出該当者	摘要
長期履修申請書	長期履修学生制度 適用希望者	(所定用紙)
在職証明書等	〃	在職証明書又は、それに準ずる書類

③ 試験日程

地域文化論専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	9:20~10:20	筆記試験(共通問題)
	10:40~12:40	筆記試験(専門科目)
	14:00~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

社会科学専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	10:00~12:00	筆記試験(専門科目)
	13:30~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

④ 試験科目

地域文化論専攻

a) 筆記試験

(1) 共通問題

地域文化論専攻（一般入試）を志望する者すべてに課される小論文（日本語）です。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」以外使用することはできません。

(2) 専門科目

志望する専修の専門科目の中から、入学後に専門とすることを希望する科目1つを出願時を選択してください。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」の他に下記に許可されたもの以外は使用することはできません。「備考」欄に特に明記されていない限り、外国語読解・実技等は課しません。

専修	専門科目	持込みを許可するもの	備考
地域 社会 文化 論	考古学	なし	実技試験も課します。
	日本史	なし	古文書の読解も課します。
	東洋史	なし	漢文史料の読解も課します。
	西洋史	英和辞書（電子辞書不可）	英文の読解力を問う問題も課します。
	美術史	なし	
	日本思想	なし	
	中国思想	なし	漢文読解も課します。
	インド思想	なし	サンスクリット語読解も課します。
	西洋哲学・倫理思想	なし	
	西洋科学思想	英和辞書（電子辞書不可）	英文読解も課します。
	地理学・地誌学	なし	
	文化人類学	なし	英文読解も課します。
	社会学	なし	英文読解も課します。
	図書館情報学	なし	図書館情報学の各領域、情報環境について出題します。
地域 言語 文化 論	日本文学・日本語学	なし	古文書の積読（選択問題）も含みます。
	中国文学・中国語学	なし	現代中国語の能力検査も課します。外国人には日本語能力検査も兼ね行います。
	英米文学・英語学	なし	英語能力を問う問題も課します。
	ドイツ文学・ドイツ語学	独和辞書（電子辞書不可）	ドイツ語読解問題も課します。
	フランス文学・フランス語学	なし	フランス語能力を問う問題も課します。

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲，研究能力，研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

社会科学専攻

a) 筆記試験

下記の専門科目から2科目を出願時に選択してください。なお、そのうち1科目は入学後に専門とすることを希望する科目でなければなりません。

専 修	専 修 に 関 連 す る 専 門 科 目
地 域 行 政 政 策	憲法，刑法，刑事訴訟法，法哲学、政治思想史，地方自治論， 政治学原論，行政学，行政法，国際法，国際関係論， 理論経済学（近代経済学），経済原論（社会経済学），計量経済学， 財政学，経済政策，福祉経済論
地 域 経 営 法 務	民法，商法，労働法，日本経済論，産業経済論，金融論，地域経済 論，国際経済論，日本経済史，経営学，マーケティング論，人的資 源管理論

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲，研究能力，研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

(2) 社会人特別入試

① 出願資格

a) 標準在学コース（2年間）

下記1～9のいずれかに該当し、かつ入学時において社会人として3年以上の経験を有する者

b) 短期在学コース（1年間）

勤務先の所属長が本学への出願を認めた者で下記1～9のいずれかに該当し、かつ入学時において社会人として3年以上の経験を有する者

次の各号のいずれかに該当する者

1. 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの

(注1) 定職をもち、夜間又は通信制の大学、短期大学に在学した期間は社会人の経験に含めます。

(注2) 上記出願資格9号の対象者は、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国大学日本分校、外国人学校の卒業生等で大学卒業資格を有していない人です。

(注3) 上記出願資格7号、8号又は9号の資格で出願を希望する場合は土曜日・日曜日・祝日を除く平成22年12月10日（金）までに、下記まで必ず問い合わせてください。

問い合わせ先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学人文学部チーム 学務担当 TEL 059-231-9197

E-mail hum-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

② 出願書類等（社会人特別入試）

書類等の名称	提出該当者	摘要
入学志願票	全員	(所定用紙)
受験票・写真票	全員	(所定用紙) 必ず自筆してください。
成績証明書	全員	出身大学長等が作成し厳封したものを提出してください。
卒業証明書 (卒業見込証明書)	全員	出身大学長等が作成したものを提出してください。
志願理由書・研究計画書	全員	(所定用紙) <ul style="list-style-type: none"> ・ ワープロによる作成可。 その場合は、指定用紙枠内に直接印字あるいは印字した別紙の貼付のいずれも可。 ・ 専攻により用紙が異なるので注意してください。 <p>○ 地域文化論専攻志願者で、卒業論文・研究成果等がある者は、それを添付してもよい（コピー可）。論文等には要旨をつけてください。（ただし、英米文学・英語学、ドイツ文学・ドイツ語学を志願する者は論文等及び要旨を提出する必要はありません。）</p>
出願承諾書	短期在学 コース (1年間)	(所定用紙)
入学検定料	全員	30,000円 (振込手数料が別途必要となります。) 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関(銀行・信用金庫・農協など)の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。 (ATMは使用しないでください。)
入学検定料納付票		振込の後に、「振込証明書」(入学検定料納付票貼付用)を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 (ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。)
返信用封筒	全員	受験票の送付用封筒(本学交付のもの)に住所・氏名等を明記し、350円分の切手を貼り付けてください。
宛名シール	全員	(所定用紙)

(標準在学コースで長期履修を希望する者)

書類等の名称	提出該当者	摘要
長期履修申請書	長期履修学生制度 適用希望者	(所定用紙)
在職証明書等	〃	在職証明書又は、それに準ずる書類

③ 試験日程

地域文化論専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	9:20~10:20	筆記試験(共通問題)
	10:40~12:40	筆記試験(専門科目)
	14:00~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

社会科学専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	10:00~12:00	筆記試験(専門科目) (社会一般に関する小論文)
	13:30~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

④ 試験科目

地域文化論専攻

a) 筆記試験

(1) 共通問題

地域文化論専攻（社会人特別入試）を志望する者すべてに課される小論文（日本語）です。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」以外使用することはできません。

(2) 専門科目

志望する専修の専門科目の中から、入学後に専門とすることを希望する科目1つを出願時に選択してください。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」の他に下記に許可されたもの以外は使用することはできません。「備考」欄に特に明記されていない限り、外国語読解・実技等は課しません。

専修	専門科目	持込みを許可するもの	備考
地域 社会 文化 論	考古学	なし	実技試験も課します。
	日本史	なし	古文書の読解も課します。
	東洋史	なし	漢文史料の読解も課します。
	西洋史	英和辞書（電子辞書不可）	英文の読解力を問う問題も課します。
	美術史	なし	
	日本思想	なし	
	中国思想	なし	漢文読解も課します。
	インド思想	なし	サンスクリット語読解も課します。
	西洋哲学・倫理思想	なし	
	西洋科学思想	英和辞書（電子辞書不可）	英文読解も課します。
	地理学・地誌学	なし	
	文化人類学	なし	英文読解も課します。
	社会学	なし	英文読解も課します。
図書館情報学	なし	図書館情報学の各領域、情報環境について出題します。	
地域 言 語 文 化 論	日本文学・日本語学	なし	古文書の釈読（選択問題）も含みます。
	中国文学・中国語学	なし	現代中国語の能力検査も課します。外国人には日本語能力検査も兼ね行います。
	英米文学・英語学	なし	英語能力を問う問題も課します。
	ドイツ文学・ドイツ語学	独和辞書（電子辞書不可）	ドイツ語読解問題も課します。
	フランス文学・フランス語学	なし	フランス語能力を問う問題も課します。

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲、研究能力、研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

社会科学専攻

a) 筆記試験（社会一般に関する小論文）

志願者の文章の明確さ、論理的な思考力を判定します。

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲、研究能力、研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

(3) 外国人留学生特別入試

① 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における16年の課程若しくはこれと同等以上の課程を平成23年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者で、日本の学士の学位と同等の学位を取得した者又は取得見込みの者
2. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
3. 外国人留学生として、日本の大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
4. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達するもの

(注1) 上記出願資格4号の対象者は、高等専門学校・短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校、外国人学校の卒業者等で大学卒業資格を有していない人です。

(注2) 上記出願資格4号の資格で出願を希望する場合は土曜日・日曜日・祝日を除く平成22年12月10日(金)までに、下記まで必ず問い合わせてください。

問い合わせ先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学人文学部チーム 学務担当 TEL 059-231-9197

E-mail hum-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

② 出願書類等（外国人留学生特別入試）

書類等の名称	提出該当者	摘要
入学志願票	全員	(所定用紙)
受験票・写真票	全員	(所定用紙) 必ず日本語で自筆してください。
成績証明書	全員	出身大学長等が作成し厳封したものを提出してください。
卒業証明書 (卒業見込証明書)	全員	出身大学長等が作成したものを提出してください。
志願理由書・研究計画書	全員	(所定用紙) <ul style="list-style-type: none"> ・ ワープロによる作成可。 その場合は、指定用紙枠内に直接印字あるいは印字した別紙の貼付のいずれも可。 ・ 専攻により用紙が異なるので注意してください。 ○ 地域文化論専攻志願者で、卒業論文がある者は、卒業論文(コピー可)を別途提出してください。卒業論文には日本語による要旨をつけてください。 図書館情報学の志願者は、要旨を2000字程度で作成してください。(ただし、英米文学・英語学、ドイツ文学・ドイツ語学を志願する者は卒業論文及び要旨を提出する必要はありません。) 卒業論文を取り寄せることが困難な者は、その理由を記入した事由書を提出してください。
国籍・在留資格を証明できる書類	☆全員	市町村長発行の登録原票記載事項証明書
入学検定料	全員	30,000円 (振込手数料が別途必要となります。) 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関(銀行・信用金庫・農協など)の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。 (ATMは使用しないでください。)
入学検定料納付票		振込の後に、「振込証明書」(入学検定料納付票貼付用)を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 (ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。)
返信用封筒	全員	受験票の送付用封筒(本学交付のもの)に住所・氏名等を明記し、350円分の切手を貼り付けてください。
宛名シール	全員	(所定用紙)

☆ 未登録のため、当該証明書を提出できない人は、パスポートの写しを提出してください。
その場合、入学後すみやかに「登録原票記載事項証明書」を提出してください。

③ 試験日程

地域文化論専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	9:20~10:20	筆記試験(共通問題)
	10:40~12:40	筆記試験(専門科目)
	14:00~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

社会科学専攻

試験日	試験時間	試験科目等
平成23年 2月5日(土)	10:00~12:00	筆記試験 (専門科目及び小論文)
	13:30~	口述試験(面接)
2月6日(日)	10:00~	口述試験(面接)

(注) 口述試験(面接)の実施日は、あらかじめ本人に通知します。

2日目の面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票交付時に文書にて通知します。

④ 試験科目

地域文化論専攻

a) 筆記試験

(1) 共通問題

地域文化論専攻（外国人留学生特別入試）を志望する者すべてに課される小論文（日本語）です。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」以外使用することはできません。

(2) 専門科目

志望する専修の専門科目の中から、入学後に専門とすることを希望する科目1つを出願時
に選択してください。なお試験時においては、「筆記具、消しゴム、時計」の他に下記に許
可されたもの以外は使用することはできません。「備考」欄に特に明記されていない限り、外
国語読解・実技等は課しません。

専修	専 門 科 目	持込みを許可するもの	備 考
地 域 社 会 文 化 論	考 古 学	なし	実技試験も課します。
	日 本 史	なし	古文書の読解も課します。
	東 洋 史	なし	漢文史料の読解も課します。
	西 洋 史	英和辞書（電子辞書不可）	英文の読解力を問う問題も課します。
	美 術 史	なし	
	日 本 思 想	なし	
	中 国 思 想	なし	漢文読解も課します。
	イ ン ド 思 想	なし	サンスクリット語読解も課します。
	西洋哲学・倫理思想	なし	
	西 洋 科 学 思 想	英和辞書（電子辞書不可）	英文読解も課します。
	地 理 学 ・ 地 誌 学	なし	
	文 化 人 類 学	なし	英文読解も課します。
	社 会 学	なし	英文読解も課します。
	図 書 館 情 報 学	なし	図書館情報学の各領域、情報環境について出題します。
地 域 言 語 文 化 論	日本文学・日本語学	なし	古文書の積読（選択問題）も含みます。
	中国文学・中国語学	なし	現代中国語の能力検査も課します。日本語能力検査も兼ね行います。
	英米文学・英語学	なし	英語能力を問う問題も課します。
	ドイツ文学・ドイツ語学	独和辞書（電子辞書不可）	ドイツ語読解問題も課します。
	フランス文学・フランス語学	なし	フランス語能力を問う問題も課します。

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲，研究能力，研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

社会科学専攻

a) 筆記試験

① 専門科目

下記の専門科目から入学後に専門とすることを希望する1科目を出願時に選択してください。

専 修	専 修 に 関 連 す る 専 門 科 目
地 域 行 政 政 策	憲法，刑法，刑事訴訟法，法哲学，政治思想史，地方自治論，政治学原論，行政学，行政法，国際法，国際関係論，理論経済学（近代経済学），経済原論（社会経済学），計量経済学，財政学，経済政策，福祉経済論
地 域 経 営 法 務	民法，商法，労働法，日本経済論，産業経済論，金融論，地域経済論，国際経済論，日本経済史，経営学，マーケティング論，人的資源管理論

② 小論文

志願者の日本語の表現能力，文章の明確さ，論理的な思考力を判定します。

b) 口述試験（面接）

志願者の研究意欲，研究能力，研究計画にかかわる関連知識等を判定します。

9. 各入試に共通する注意事項

(1) 出願書類の提出にあたって

- ① 提出書類に記載事項の記入もれ、その他不備がある場合は出願書類を受理しません。
- ② 出願後は、提出書類の変更はできません。
- ③ 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(2) 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- ① 入学検定料を払い込んだが三重大学に出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

〈返還請求の方法〉

便せん等を使用し、次の(a)～(e)を明記した入学検定料返還請求願を作成し、必ず「入学検定料受取書」(コピー可)を添付して三重大学財務部経理チーム(〒514-8507 津市栗真町屋町 1577)へ出願期間締切り後2週間以内に郵送してください。

(封筒には「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしてください。)

後日、財務部経理チームから返還手続きに必要な書類を郵送します。

なお、返還時期は、入学検定料返還請求願受理後概ね1ヶ月後を予定しています。

[入学検定料返還請求願]

- (a) 返還請求の理由
- (b) 氏名(フリガナ)
- (c) 現住所
- (d) 連絡先の電話番号
- (e) その他

(3) 試験場所

三重大学人文学部

(4) 合格者発表

平成23年2月14日(月) 午前10時頃

三重大学人文学部ロビーに合格者の受験番号を掲示するほか合格者本人あてに郵便で通知します。また、三重大学学務部入試チームホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>)にも、合格者の受験番号を掲載します。

閲覧できる期間は

「平成23年2月14日(月)10時～平成23年2月21日(月)17時まで」です。

なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

(5) 入学手続

- ① 手続方法 平成23年3月上旬頃に改めて「入学手続要項」を送付しますので、その要項によって入学手続を行ってください。

② 必要経費及び必要書類

1. 入学料 282,000 円
2. 前期分授業料 267,900 円（又は、年額 535,800 円）
3. 誓約書・保証書等

(注1) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。
長期履修学生として認められた場合は、別途の指示に従ってください。

(注2) 入学料及び授業料の納入方法については、合格者に対して送付する入学手続要項でお知らせいたします。

(6) 出願書類の請求方法

出願書類を郵送で請求する場合は、請求する封筒の表に「大学院出願書類請求」と朱書し、返信用封筒（角形2号封筒（33 cm×24 cm）に差出人の郵便番号、住所、氏名を明記し、240 円分の切手（速達の場合は 510 円分の切手）を貼ってください。）を同封し、下記あてに請求してください。

請求先 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学人文学部チーム 学務担当
TEL 059-231-9197

10. 障害等のある入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度（次表参照））等がある者に対しては、受験及び就学上特別な配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本研究科を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

（学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠）

区 分	身 体 障 害 の 程 度
視 覚	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
身体機能	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（1）相談の方法

特別措置を希望する場合は、電話又はFAXなどによりあらかじめ本学人文学部チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書（様式は特に定めません。）を、本学人文学部チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- ② 出身大学又は大学院等名・卒業・修了（見込み）年月日
- ③ 志望専攻・志望研究分野名
- ④ 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳の写しを添付してください。）
- ⑤ 受験及び就学上希望する具体的措置
- ⑥ 出身大学等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑦ その他参考となる事項

(2) 相談の時期

平成 22 年 12 月 10 日 (金) まで (土曜日・日曜日・祝日は除く)

(3) 連絡先

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学人文学部チーム 学務担当

TEL 059-231-9197 FAX 059-231-9197

E-mail hum-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

文	化	地	理	学	特	講	2	單	位	現	代	中	國	語	演	習	I	2	單	位
文	代	情	環	境	論	習	2	單	位	現	代	中	國	語	特	講	II	2	單	位
現	情	報	利	用	論	講	2	單	位	現	代	中	國	語	論	習	I	2	單	位
情	報	シ	テ	ム	論	講	2	單	位	現	代	中	國	語	論	習	II	2	單	位
地	球	環	境	学	特	習	2	單	位	英	文	学	学	特	講	I	2	單	位	
環	境	地	理	学	論	習	2	單	位	英	文	学	学	特	講	II	2	單	位	
生	命	環	倫	理	論	習	2	單	位	英	文	学	学	特	講	I	2	單	位	
西	洋	倫	想	文	論	習	2	單	位	英	文	学	学	特	講	II	2	單	位	
社	会	環	想	文	論	習	2	單	位	理	論	言	語	学	特	I	2	單	位	
地	域	社	境	論	特	講	2	單	位	英	米	米	米	米	米	講	II	2	單	位
グ	口	バ	ル	会	論	習	2	單	位	英	米	米	米	米	米	講	III	2	單	位
國	際	平	和	論	特	習	2	單	位	英	米	米	米	米	米	講	IV	2	單	位
環	境	心	理	論	演	習	2	單	位	英	米	米	米	米	米	講	I	2	單	位
社	会	心	理	論	特	習	2	單	位	英	米	米	米	米	米	講	II	2	單	位

地域言語文化論専修科目

日	本	語	史	特	講	2	單	位	現	代	中	國	語	演	習	I	2	單	位			
日	本	語	資	論	習	2	單	位	現	代	中	國	語	特	講	II	2	單	位			
風	土	文	資	論	講	2	單	位	現	代	中	國	語	論	習	III	2	單	位			
上	代	古	本	文	学	論	2	單	位	現	代	中	國	語	学	特	IV	2	單	位		
上	代	古	本	文	学	論	2	單	位	ド	ド	ド	ド	ド	ド	講	I	2	單	位		
中	世	近	本	文	学	論	2	單	位	ド	ド	ド	ド	ド	ド	講	II	2	單	位		
中	世	近	本	文	学	論	2	單	位	言	語	情	報	論	特	習	III	2	單	位		
中	世	近	本	文	学	論	2	單	位	マ	ル	チ	言	語	論	特	IV	2	單	位		
近	代	現	日	本	文	学	2	單	位	マ	ル	チ	言	語	論	特	I	2	單	位		
近	代	現	日	本	文	学	2	單	位	マ	ル	チ	言	語	論	特	II	2	單	位		
中	國	古	典	文	学	論	2	單	位	現	代	中	國	語	資	料	論	特	III	2	單	位
中	國	古	典	文	学	論	2	單	位	現	代	中	國	語	資	料	論	特	IV	2	單	位
中	國	現	代	文	学	論	2	單	位	フ	フ	フ	フ	フ	フ	講	I	2	單	位		
中	國	現	代	文	学	論	2	單	位	フ	フ	フ	フ	フ	フ	講	II	2	單	位		
中	國	現	代	文	学	論	2	單	位	現	代	中	國	語	ス	ス	講	III	2	單	位	
華	文	文	学	論	特	習	2	單	位	現	代	中	國	語	ス	ス	講	IV	2	單	位	
華	文	文	学	論	特	習	2	單	位	現	代	中	國	語	ス	ス	講	I	2	單	位	
華	文	文	学	論	特	習	2	單	位	現	代	中	國	語	ス	ス	講	II	2	單	位	
現	代	中	國	語	特	講	2	單	位	現	代	中	國	語	ス	ス	講	III	2	單	位	

社会科学専攻

専攻共通科目

特別研究	文化と社会	I II	2	単	位
重文	とと	I II	2	単	位
本の語	読解	I II	2	単	位
本の語	読解	I II	2	単	位
本の語	読解	I II	2	単	位
本の語	読解	I II	2	単	位
本の語	読解	I II	2	単	位

地域行政政策専修科目

比較憲法論	特	講	2	単	位
比較憲法論	特	講	2	単	位
基本的人権論	特	講	2	単	位
犯罪総論	特	講	2	単	位
犯罪総論	特	講	2	単	位
地域社会と刑法	特	講	2	単	位
刑事手続と刑法	特	講	2	単	位
犯罪手続と刑法	特	講	2	単	位
法哲	特	講	2	単	位
地域社会と法	特	講	2	単	位
政治思想史	特	講	2	単	位
政治思想史	特	講	2	単	位
公共政策の政治哲学	特	講	2	単	位
地方自治論	特	講	2	単	位
地方自治論	特	講	2	単	位
地方自治論	特	講	2	単	位
比較政治論	特	講	2	単	位
比較政治論	特	講	2	単	位
女性と政治学	特	講	2	単	位
行政学	特	講	2	単	位
地方分権と自治体行政	特	講	2	単	位
行政法	特	講	2	単	位
自治体における法政策	特	講	2	単	位
国際法	特	講	2	単	位
国際法	特	講	2	単	位
地球環境法政策	特	講	2	単	位
国際組織法	特	講	2	単	位
国際刑事法	特	講	2	単	位
国際関係論	特	講	2	単	位
国際関係論	特	講	2	単	位
地理学	特	講	2	単	位
経済学	特	講	2	単	位
現代理論	特	講	2	単	位
計量経済学	特	講	2	単	位

計量経済学	演	習	2	単	位
応用計量経済学	特	講	2	単	位
財政学	特	講	2	単	位
財政学	特	講	2	単	位
現代地方財政	特	講	2	単	位
福祉経済論	特	講	2	単	位
福祉経済論	特	講	2	単	位
社会保障論	特	講	2	単	位
経済政策	特	講	2	単	位
経済政策	特	講	2	単	位
地域経済政策	特	講	2	単	位
政治と参加	特	講	2	単	位
国際紛争処理法	特	講	2	単	位
国際紛争処理法	特	講	2	単	位
少年非行と少年法	特	講	2	単	位
少年非行と少年法	特	講	2	単	位
刑法と医療事法	特	講	2	単	位
刑法と医療事法	特	講	2	単	位
政策・地域分析	特	講	2	単	位
政策・地域分析	特	講	2	単	位
地域と介護	特	講	2	単	位
自治体政策論	特	講	2	単	位
自治体政策論	特	講	2	単	位
分権型システムにおける経済政策	特	講	2	単	位

地域経営法務専修科目

民法総則・物権法	特	講	2	単	位
民法総則・物権法	特	講	2	単	位
民法総則・債権法	特	講	2	単	位
民法総則・債権法	特	講	2	単	位
民法生活と法	特	講	2	単	位
民法生活と法	特	講	2	単	位
比較家族法	特	講	2	単	位
比較家族法	特	講	2	単	位
家事手続法	特	講	2	単	位
家事手続法	特	講	2	単	位
国際取引と民事紛争処理	特	講	2	単	位
国際取引と民事紛争処理	特	講	2	単	位
会社法	特	講	2	単	位
会社法	特	講	2	単	位
中小会社法	特	講	2	単	位
中小会社法	特	講	2	単	位
労働法	特	講	2	単	位
労働法	特	講	2	単	位
労働組合論	特	講	2	単	位
労働組合論	特	講	2	単	位
日本経済システム論	特	講	2	単	位
日本経済システム論	特	講	2	単	位
産業経済論	特	講	2	単	位
産業経済論	特	講	2	単	位
アジア産業経済論	特	講	2	単	位
アジア産業経済論	特	講	2	単	位
金融論	特	講	2	単	位
金融論	特	講	2	単	位
現代地域金融論	特	講	2	単	位
現代地域金融論	特	講	2	単	位
地域経済論	特	講	2	単	位
地域経済論	特	講	2	単	位
地域分析論	特	講	2	単	位
地域分析論	特	講	2	単	位
国際経済論	特	講	2	単	位
国際経済論	特	講	2	単	位
国際企業経済学	特	講	2	単	位
国際企業経済学	特	講	2	単	位
日本資本主義論	特	講	2	単	位
日本資本主義論	特	講	2	単	位
日本資本主義論	特	講	2	単	位

経営学総論演習	2単位	人的資源管理論演習	2単位
企業間ネットワーク論特講	2単位	組織における人間行動特講	2単位
マーケティング特講	2単位	産業構造論特講	2単位
マーケティング演習	2単位	比較経済史特講	2単位
グローバル・マーケティング特講	2単位	国際経営論特講	2単位
人的資源管理論特講	2単位	経営破綻と債務処理法特講	2単位

12. 地域文化論専攻における指導内容

専修	専門科目	指導内容
地域文化論	考古学	日本考古学（宮都や地方官衙を主テーマとする）を中心とした歴史考古学研究及び東アジア宮都（中国・朝鮮・モンゴル・ベトナム等）比較研究。
	日本史	古代から近代までの日本史。
	東洋史	古代から清朝末期までの中国史。
	西洋史	欧州近現代およびアメリカに関する歴史学的研究。
	美術史	東アジア（中国・日本・朝鮮）を中心とした美術史研究。
	日本思想	日本の諸思想，特にそこに窺われる倫理的思惟に関する研究。
	中国思想	中国古代の思想（諸子百家・経学等），中国古代の神話，中国古代の天文学，漢代の思想（『淮南子』・『論衡』等），六朝時代の仏教思想，宋代の思想，明代の思想。
	インド思想	インド仏教における認識論・存在論の研究。インド哲学・仏教学文献の思想史的研究。
	西洋哲学・倫理思想	西洋古代哲学・倫理学，西洋近代哲学・倫理学。
	西洋科学思想	19世紀イギリスの生物学や医学の歴史的研究。科学分野におけるジェンダー研究。
	地理学・地誌学	自然地理学・気候学の研究。環境地理学の研究。人文地理学（文化地理学・都市地理学・農山村地理学）の研究。地域調査方法論。
	文化人類学	異文化理解，他者理解をねらいとした，文化理論や他社会の事例の研究。参与観察，インタビューにもとづく実証的研究。
	社会学	社会学諸理論の研究。社会構造・社会変動・社会現象の実証的研究。社会調査法（サーベイ調査，フィールドワーク等）の研究。
	図書館情報学	図書館情報学および情報環境に関する研究。
地域言語文化論	日本文学・日本語学	日本古典文学・日本近代文学・日本語学。
	中国文学・中国語学	中国古典文学・中国現代当代文学・中国語学・華文文学・華僑・華人研究等。
	英米文学・英語学	イギリス，アメリカ及び広く英語圏の文学研究。現代言語学の諸分野（音声・音韻論，統語論，語用論，談話分析，言語習得研究）の研究。
	ドイツ文学・ドイツ語学	啓蒙主義以降のドイツ文学，現代ドイツ事情と現代ドイツ語学の諸分野（音韻論，統語論，意味論，語用論等）。
	フランス文学・フランス語学	フランス文学・思想，とくに19世紀フランス詩。フランス文化一般。
留学生関連科目	上級日本語の読解と会話（留学生対象）。	

13. 修了の要件及び学位

(1) 修了の要件

本研究科に所定の年限以上在学し、指導教員の指導により授業科目について 30 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、本研究科で行う修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

ただし、研究科が認めた有職者は、特定課題研究をもって、修士論文に代えることができます。

(2) 履修方法

単 位 履 修 基 準

専攻名	コース	必修科目	選択必修科目	自由選択科目	計
地域文化論専攻	標準	12	10	8	30+修士論文
	短期	8	14	8	30+修士論文
社会科学専攻	標準短期	8	14	8	30+修士論文

地域文化論専攻

① 必修科目

a) 標準在学コース (12 単位)

特別研究 I・II・III・IV 計 8 単位

指導教員が指定する特講及び演習 計 4 単位

b) 短期在学コース (8 単位)

特別研究 I・II 計 4 単位

指導教員が指定する特講及び演習 計 4 単位

② 選択必修科目

a) 標準在学コース (10 単位)

当該専修の授業科目並びに「三重の文化と社会 I・II」から選択

b) 短期在学コース (14 単位)

当該専修の授業科目並びに「三重の文化と社会 I・II」から選択

* 外国人留学生においては「日本語読解特講」「日本語読解演習」「日本語会話特講」「日本語会話演習」の中の 4 単位を選択必修に含めることができます。

③ 自由選択科目 (8単位)

標準在学コース・短期在学コースとも、当該専攻及び他専攻の授業科目から自由に選択できます。

指導教員が教育上有益と認め、かつ、他研究科授業担当教員が授業運営に支障がないと認めた場合は、他研究科授業科目を履修することができ、他研究科において履修した授業科目について修得した単位にあつては、10単位を超えない範囲で自由選択科目の中に算入することができます。

④ 修士論文

研究科が認めた有職者は、特定課題研究をもって、修士論文に代えることができます。

社会科学専攻

① 必修科目 (8単位)

特別研究Ⅰ・Ⅱ 計4単位

指導教員が指定する特講及び演習 計4単位

② 選択必修科目 (14単位)

当該専修科目・「三重の文化と社会Ⅰ・Ⅱ」

* 外国人留学生においては「日本語読解特講」「日本語読解演習」「日本語会話特講」「日本語会話演習」の中の4単位を選択必修に含めることができます。

③ 自由選択科目 (8単位)

当該専攻及び他専攻の授業科目から自由に選択できます。

指導教員が教育上有益と認め、かつ、他研究科授業担当教員が授業運営に支障がないと認めた場合は、他研究科授業科目を履修することができ、他研究科において履修した授業科目について修得した単位にあつては、10単位を超えない範囲で自由選択科目の中に算入することができます。

④ 修士論文

研究科が認めた有職者は、特定課題研究をもって、修士論文に代えることができます。

(3) 有職者の履修上の特例

大学院設置基準第14条の特例に基づく教育方法の特例による昼夜間開講は、次のように行われます。

① 昼間の授業に出席できない有職者に対して、前・後期中の月～金曜日の夜間に22コマの授業を開講します。

夜間時間割 11～12時限 18時00分～19時30分

13～14時限 19時40分～21時10分

② 有職者は、夜間開講授業を履修することで、定められた修業年限（長期履修学生として認められた場合は3年間または4年間、短期在学コースの場合は1年間）で、修士課程修了に必要な単位を修得できます。

なお、必要に応じて土曜日、日曜日、その他の休日に授業を行うこともあります。

③ 研究科が認めた有職者は、特定課題研究を提出することで、修士論文に代えることができます。

他研究科の博士課程への進学希望者は、志願先で修士論文の提出を求められることがあるので注意してください。

- (4) 授与される学位は次のとおりです。
- | | |
|---------|----------|
| 地域文化論専攻 | 修士（人文科学） |
| 社会科学専攻 | 修士（社会科学） |

14. 個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が平成 17 年 4 月 1 日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第 9 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

ホームページ

アドレス <http://www.human.mie-u.ac.jp/>

三重大学人文学部のホームページで
学部ならびに研究科の教育・研究の紹介と入試案内をしています。